

新型コロナ対策・GIGAスクールの実施を決定

7月29日議会臨時会可決による 補正予算 総額約2億5,900万円

町では、7月29日開会の町議会臨時会での補正予算可決をうけ、これまで実施してきた新型コロナウイルス感染症対策に追加する新たな対策事業や、小中学校でのICT環境拡充を図る「GIGAスクール構想事業」など、地方創生臨時交付金など国の補助金・交付金約2億3,700万円を主な財源とした新事業の実施を決定しました。

今回決定した主な事業の概要をお知らせします。

新型コロナウイルス感染症対策 追加事業 事業費約7,700万円

① 雇用の維持と事業者の事業継続のための事業

中小企業や農業事業者が借入れた資金への利子補給・信用保証料補給

- ・借入金への利子補給のための基金を創設

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地域経済への支援

- ・雇用調整助成金の申請のために委託する社会保険労務士への委託料支援など

町内の経済を活性化するための消費喚起

- ・今年開催予定であった「ものづくり展」をオンラインで開催するための支援
- ・各種イベント中止や移動自粛・観光需要低下により影響を受けた関係事業者支援など

② 幅広い世代の生活を支援するための事業

- ・町外に居住（在学）する町出身の学生を対象とした消費喚起、生活応援
- ・障がいのある方や介護を必要とする方への支援

③ 町施設等における感染拡大防止のための事業

学校施設等への防疫用品（マスク、消毒液等）の整備

- ・保育園、学校、保健センター等の防疫用品の追加購入
- ・町施設への検温設備の整備
- ・イベント開催時等に表示する「新しい生活様式」行動喚起用の表示版作成

災害発生時における避難所等での感染拡大防止のための事業

- ・避難所のコロナ対応用のパーティション等の整備（追加）
- ・多言語対応版ハザードマップの作成

新しい生活様式に対応した町施設の整備等

- ・町施設のオンライン環境拡大、web会議実施環境の整備
- ・多数の町民が利用する町施設の洗面台等の非接触化など

学校ICT環境拡充 GIGAスクール構想事業 事業費約1億8,200万円

小中学校児童生徒に1人1台の情報端末を配布するなど

➡ G I G Aスクール構想について詳しくは裏面をご覧ください。

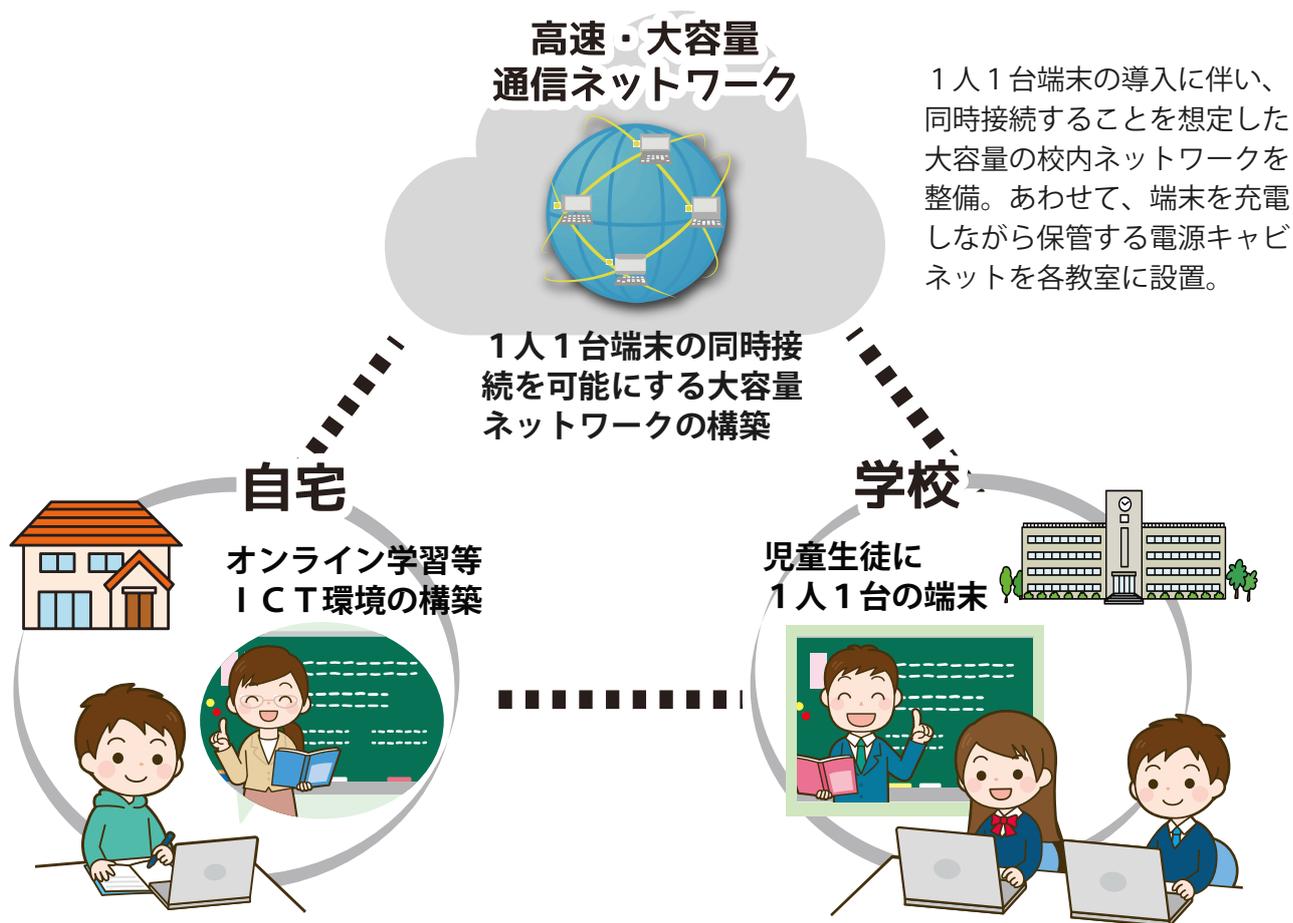
小中学校の教育ICT環境の拡充に 1人1台の情報端末整備ほか GIGAスクール構想の早期導入を推進

ギガ GIGAスクール構想とは

文部科学省が掲げる小中学校児童生徒への1人1台端末の配備や校内ネットワークの大容量化をはじめとする教育ICT環境整備事業のこと。コンピューターやインターネットの使用を前提とした情報活用能力の向上などを目的とし、また、このコロナ禍をはじめ、災害時や感染症発生などによる臨時休業において、オンライン学習など、子どもたちの学びの環境を維持する重要度が増したことから、今年度中に整備する方針が国から示されたものです。

町では、町内小中学校の児童生徒にいち早く最先端のICT環境での学習を提供するため、このGIGAスクール構想の早期導入を進めていきます。

GIGAスクール構想によるICT基盤整備の概要



1人1台端末の導入に伴い、同時接続することを想定した大容量の校内ネットワークを整備。あわせて、端末を充電しながら保管する電源キャビネットを各教室に設置。

災害時や感染症発生時における臨時休業等の際に、家庭でもインターネットを活用することでオンライン授業等の学習ができるよう、中学3年生のほか支援が必要な家庭を援助。

また、感染症発生時には、家庭での学習が困難な場合に学校で密を避けたインターネット学習ができるよう、体育館にもネット環境を整備。

1人1台端末の導入によりインターネットを活用した情報検索やデータ収集学習が充実し各自の考え方の共有も可能。多様な意見に触れ、情報モラル学習にもつながる。

デジタル教材の活用により、学習進捗状況の可視化も可能に。一人ひとりの理解度・教育ニーズに応じた個別学習も。